

■ かみかわ有機農業ネットワーク現地検討会を開催しました ■

令和4年7月7日、有機農業生産ほ場や多彩な農作物のほ場を視察することにより、有機農業に取り組む上での生産面での課題解決をはかり、農業者間の人的交流を活性化させることを目的に、現地検討会を開催しました。併せて、検討会の様子は現地参加が困難な方のために、Web 配信を行いました。現地及び Web 視聴併せて35名の参加となりました。

1 ソラナファーム株式会社 代表取締役社長 濱田敏史 氏

「的確な施肥管理によるおいしい有機かぼちゃづくりの手法」をテーマに、かぼちゃ栽培ほ場にて研修を行いました。

有機栽培と特別栽培では生育や病気のつき方が異なること、品種に応じた整枝を行うことで良いものができること、土作りの大切さなどについて伺いました。



2 和寒町・和寒町農業活性化センター「農想塾」

農業技術の拠点施設として、さらには、農業後継者の研修の場にもなっている農想塾にて、各種野菜や豆類などの試験栽培ほ場にて研修を行いました。

キャベツの直播試験や15品種に及ぶかぼちゃの試験の他、トマト、さつまいも、2重ハウスでの秋収穫と冬収穫野菜の2作試験など様々な話を伺いました。



■ かみかわ有機農業ネットワーク朝市を開催しました ■

有機農産物やこだわり栽培の農産物等のおいしさや魅力を知ってもらうとともに、生産者と消費者の交流を図るため、8月～10月の毎月第1土曜日、アミューズマーケット駐車場(旭川市神楽岡5条4丁目1-5)にて、「かみかわ有機農業ネットワーク朝市」を開催しました。

出店数は延べ8店舗となりました。店舗毎に、有機農産物を統一価格で販売、こだわり栽培の農産物と加工品を販売、少量多品目をPOP広告表示して販売など、工夫を凝らしていました。

令和4年の販売風景と販売品目の一部



